

## まずは、地域の人たちとの

## コミュニケーションを楽しもう！

「住んでいる場所で何かを始めたい」「この地域で何か役に立つことをしたい」。でも、一体何から始めたら…？ 今回は、地域ブランドプロジェクト『ひがしなり街道玉手箱』など数々の地域活性化活動にたずさわるクリエイティブディレクターの藤田ツキトさんにインタビュー。地域活動に興味を持ったきっかけや現在の活動内容、地域と上手に付き合うコツを伺いました。

## 地域活動の原点になった『KaRaTaMap(カラタマップ)』

初めて「まち」と深い関わりを持ったのは玉造でした。当時、インスタントカメラマンとしてアート活動をしていた僕は、玉造で企画ギャラリーを運営。そのとき訪れたお客さんに地域のことを聞かれても、自分自身が玉造をよく知らなくて「まち歩き用のマップがあれば案内できるのに」と考えました。マップに自分のギャラリーを掲載すれば宣伝にもなりますし、

そこで活動を通じて知り合った有志の店主が集い、空堀と玉造の飲食店や雑貨屋、ギャラリーを網羅した『KaRaTaMap』というフリーペーパーマップを作ることになりました。自分たちで掲載店を探さなければいけないし、課題も山積みでしたが「自分たちの店とこの地域の賑わいを作り出したい」という思いで東奔西走。結果、僕自身も多くの店舗を知ることができ、そこに住む人と交流する大切さも知りました。玉造がぐっと身近な地域に変わりました。



## 町内会に対する“新旧”の温度差と共通点

住まい兼オフィスのある東成区大成地域の町内会に深く関わり始めたのは、玉造のギャラリーを畳んで拠点をマンションから戸建てに移してから。マンション当時は接点がなかった町内会も、戸建てに引っ越した途端に関わりが増え、「町内会ってどんなことをしてるんやろう？ なんかおもしろそうやな」と興味を持つようになりました。盆踊りに参加すると息子を可愛がってくださり、屋台の金券をこっそり譲ってもらったり（笑）、あつという間にすっかり地域の仲間入り。班長の役が回ってきたときは、「やっと発言ができる！」と楽しみでした。

ただし町内会は楽しいだけではありません。その後、役員になり感じたのが、町内会活動の既存の形と新しいアイデアとの温度差でした。長年、町内会活動にたずさわる方は「任された以上は責任を持ってやらなければいけない」という考え。それは当然の考えですが任意活動となると限界があり、若い世代は「貢献するけど、できないときはできない」という考え方が比較的多いです。そうすると、責任ある立場を担う次の世代は極端に少なくなります。もうひとつは、任意団体とはいえ組織なので事務的機能が必要なこと。誰かがやらなければいけない業務は膨大で、ボランティアでは無理があります。それは『KaRaTaMap』を手がけたときにも痛感したことでした。その現状は新しいアイデアで解決することが求められていると実感します。

## 『スーパー町内会活動』で、“小さな風”を吹き込む

その中で実践していることがあります。「おおさか創造千島財団」が交付する、大阪のクリエイターを応援する助成金を申請し、『スーパー町内会活動』というアイデアで審査が通りました。地域活動を無償だけでなく有償ボランティアもあるという意識を定着させたくて、その一歩として多くのクリエイターが住む大成地区で地域の仕事を生み出す事例を作りたかったのです。具体的には町内会が発信する防災マップやウェブサイトの制作を役員会で提案したんですが、新しい提案自体が初めてで、「どう対応していいかわからない」というのが本音のようでした。

それでも町会長と何度か話すうちに前向きに検討していただき、今は「できることからやっつけよう」という段階。既存の形に少しだけ風を吹かせることから始めています。



## プロフィール

藤田ツキトさん

株式会社シカトキノコ代表取締役。町に住み、人と話し、地域に溶け込むことの中から生まれる（または失われる）仕事を取り扱うご当地広告代理店。東成区ブランドプロジェクト『ひがしなり街道玉手箱』や“町内会”をテーマにした『スーパー町内会活動』に関わり、まちとデザインの関係の日々研究。

シカトキノコ | 検索 <http://shikatokinoko.com/>

## 地域で何をしたいのか目的を持ってチャレンジを

地域とはいろんな世代、いろんな思いを持つ人が集まる場所です。まずはその地域の人を知り、相手の思いや考えに寄り添うことが大切です。近所の清掃活動を手伝ったり井戸端会議に参加してみるだけで確実に距離が縮まります。親交が深まれば「この子の話を聞いてみたらか」と思ってもらえる。身近なコミュニケーションから始めてみてはいかがでしょうか。

それに、地域デビューといってもさまざま。「引越してきたばかりで友だちがほしい」「地域の祭りにどうやったら参加できるのか」などなど…。どんなものでもいいから目的を持って地域を「おもしろがること」が必要です。

僕の場合、「自分の住む地域で楽しく暮らしたい」という単純な思い。「思いついたこと、やりたいことを実践してみる」をモットーに、別にやる気マンマンじゃなくていいから思いのままに挑戦してみる。これは玉造のマップ活動にたずさわった頃から変わることはありません。

## 地域デビュー応援セミナーを開催します！

プログラム (全2回)

第1回 おとなの井戸端会議 ~あなたにとっての“地域”“ネットワーク”って??~

第2回 地域で活動をはじめた先輩に聞いてみよう ~活動スタートのきっかけとメンバーの集め方など~  
本頁で紹介の藤田ツキトさんのように、各地域でご活躍のゲストスピーカーにお話しいただきます。クレオ大阪 南 | 日時 11月13日、27日 金曜日  
10:00~12:00 全2回地域でなにかをはじめよう！  
~地域でのチャレンジ&デビュー応援セミナー~

地域で何かをはじめたい、地域でちょっと立ち話ができたらいいなあ、そんな思いをもっておられるあなた、いろんな意見や地域活動の先輩の話を聞いて、自分サイズの地域デビュー、しませんか？

対象/地域でなにかをはじめたい女性  
定員/20名(先着順)  
講師/リー・ヤマネ・清実 (1歳~就学前)  
(パーソナル・アシスタント・ギャラリーLEE'S代表)  
【ゲストスピーカー】久山 章子(yoga space ARATI主宰)  
締切日/一時保育・手話通訳11月3日(火祝)クレオ大阪 東 | 日時 12月2日、9日 水曜日  
10:00~12:00 全2回地域でなにかをはじめよう！お役立ちビジネス  
~地域でのチャレンジ&デビュー応援セミナー~

地域で何か役立ちつことがしたいと思っている方を対象に、自分がどんなふうに地域の役に立ちたいのかを明確化し、社会貢献だけにとどめず、地域で役立つビジネス(形)にしていくヒントやコツなどの情報を提供します。

対象/地域でなにかをはじめたい女性  
定員/20名(先着順)  
講師/リー・ヤマネ・清実 (1歳~就学前)  
(パーソナル・アシスタント・ギャラリーLEE'S代表)  
【ゲストスピーカー】池田 有美(コトモット代表)  
締切日/一時保育・手話通訳11月22日(日)

## 参加者の声

「問題意識を持ってすすめる→発信する→きっかけになるということがわかりました！」  
「地域のネットワーク作りについて、参考になるお話でした。」  
「イキイキと活動されている方々に出会えて、自分もやってみようという刺激になりました。」